

ふじなみ



ご挨拶

会長 室谷千代子

第二十三期(昭和四十六年卒業)

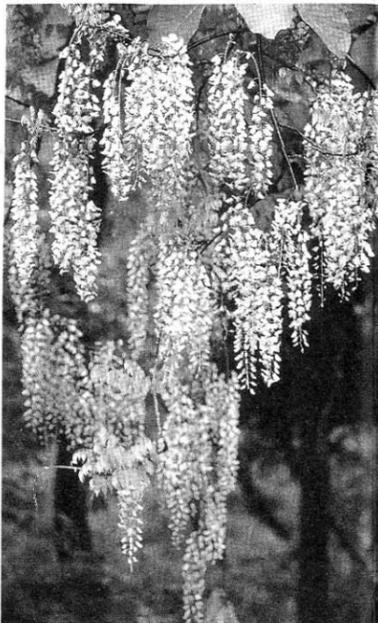
梅雨の晴れ間に、そろそろ夏の強い日差しを感じております。「ふじなみ会」会員の皆様方にはいかがお過ごしのことでしょうか。昨年の五月、姉妹校であります神戸芸術工科大学のキャンパス見学と神戸港船上ランチクルーズを兼ねた総会の折には、多数の会員様のご出席を賜り、楽しく有意義なひと時をともに過ごし、無事に終わられましたことを心よりお礼申し上げます。

また、諸事情により総会にご参加いただけなかった皆様には、次回の総会には是非ともご参加いただけますようお願い申し上げます。



ご挨拶

校長 三浦 博



同窓生の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。去る二月二十四日第五十九回卒業式が挙行され、同窓会会長様はじめ多数のご来賓にご臨席を賜り卒業式を挙げる事ができました。一三四名の卒業生は、それぞれの進む道を見つけ、次なる社会へ元気に旅立ちました。

今回の卒業生を含めると、本校の卒業生総数は一七五七九名となります。一万七千人を超える同窓生の皆様が今後この会報に様々な情報を提供して頂き、また近況報告などを寄せて頂いて、この会報を通して交流を広げていただきたいと思います。願っております。

さて、本校におきましては、平成十八年度入学生からコース分けをせず普通科へと新たに改編し、建学の精神「世に役立つ人物の養成」に基づき、生徒たちの卒業後の将来を見すえ、豊かな人生を送るために、ほんとうに必要なものを育むこと。それは受験のためだけの一部の教科に偏った教育ではなく、職業に直結した技術や技能だけ

を学ぶ教育でもありません。バランスよく、幅広く知識・教養を身につけてもらうこと、この方針を「新・教養ルネッサンス」と名付け、次代に花開く新しい教育として提唱しています。この教育課程の大きな特徴の一つであります。教科「表現」の授業は自らを見つめ直し、正しく表現し、前向きに生きる力をつけることを目的に、「茶華道」「生活の書道」「コーラス」の三科目を設定し、全員が履修しています。今回「生活の書道」「コーラス」の授業について、大阪府私立学校先導的モデル支援事業に採択されています。

更なる飛躍を目指しておられます。会員の皆様方には言うに及ばず、兄弟姉妹・孫子(同窓生子女には減免制度が適応されております。)、ご親戚、ご友人の方々に、是非本校への生徒募集のお声がけのお力添えを頂きたいと思っております。

モデル事業

「表現」の授業が文部科学省「教育革新推進モデル事業」、並びに大阪府「先導的モデル事業」に採択されました。

本校は、現在の高等学校の流れである「コース制」という名の下の専門学校化、「進学実績至上主義」に基づく予備校化に疑問を抱き、昨年度教育改革を行い、時代に幅広い知識と教養を身につけることを目的として、「新・教養ルネッサンス」を掲げるカリキュラムを実施しています。

この新しい教育課程の大きな特徴の一つである「表現」の授業は、自らを見つめ直し、正しく表現し、前向きに生きる力をつけることを目的に、「茶華道」「生活の書道」「コーラス」の三科目を設定し、全員が必ず履修することとなっています。

この本校の取り組みが文部科学省「平成十八年度私立高等学校等経常費補助(教育改革推進モデル事業)」ならびに大阪府「平成十八年度大阪府私立高等学校等教育振興補助金(先導的モデル支援事業)」において、優れた取り組みとして採択されました。文部科学省教育改革推進モデル事業は、今後わが国が、創造的で活力があり、かつ、ゆとりと潤いのある社会を築いていくための喫緊の政策課題である教育改革を推進するため、私立学校の自主性を基本としつつ、一定のテーマのもとと特色ある教育を進める私立学校をモデル校に指定して教育改革の一層推進に資するものです。

また、大阪府先導的モデル支援事業は大阪府下の私立学校の中で、教育力の向上や教育上困難な課題解決に向けてめざましい取り組みを行う学校をモデル校に指定し、重点的に補助を行うとともに、その取り組みを広く周知することにより、私学全体の教育力の向上を目指すものです。同事業は平成十七年度から実施され、二回目となる今年度は本校を含め3校の取り組みが採択されました。

具体的な授業内容として、「茶華道」は日本の伝統文化である、茶道、華道を週一時間、三年間にわたって学びます。茶道は裏千家淡交会、華道は小原流から講師をお招きし一クラスに3人の先生で実習しています。これを通じ、日本文化・和の心に触れるとともに、作法を通じマナーを学びます。場所は、ふじなみ会のみならずも利用したことを覚えておられると

思いですが、高校校舎1階の作法室九十畳もある部屋です。「生活の書道」では、硬筆・毛筆問わず、正しく美しく漢字が書けることはもちろん、社会に出た際に必要となる様々な場面で正しく手紙や書類を書くようにするとともに、文字を書くことを通じて自分の気持ちを表現することを学びます。特に気持ちを表現するということでは、母の日に感謝の気持ちを込めて色紙を作成し贈る、年賀状を心を込めて直筆で書く、自分で作った詩を絵手紙に表現するといった実習を行っています。また、授業中に作成した作品は、コンクールにも出品し、全国硬筆展覧会、会長賞や大阪府PTA協議会賞など多くの賞を頂いています。

会長賞

自分の人生を意味あるものとするために生きろには、地上の最後の生き方は高貴な存在を目指して向上の一路を駆け抜けろ。

高校 藪野あや

また、「コーラス」では、合唱を通してひとつの作品を仕上げる、協力することの大切さ、歌うことを通じて表現する力を学び、また、生徒会行事のクラス対抗のコーラス大会とも連携し、より高いレベルでのコーラスを完成させる喜びを経験できる機会としています。また、校歌を課題曲に含めることで、全員が校歌を歌えるようになり愛校心を養う一助ともなっています。昨年十一月には、南河内地区の高校音楽関係の発表会である第七ブロック音楽祭に学年全員で参加し大好評でした。

本校は、落ち着いた心を持ち、自分を正しく表現できる生徒の育成を目指し、建学の理念である「世に役立つ人物の養成」に邁進していきます。

同窓会生子女減免制度
本校では、祖母・母・姉が卒業または在学といった、同窓生の子女の入学に際して入学金半額を免除しております。
詳しくは、高校入試対策係
TEL. 072(955)0718
まで、お問い合わせ下さい

総会報告

平成18年度総会のご報告
五月晴れの一日、天王寺公園に皆様ご集合いただきました。

当日は、恩師の先生方十五名、同窓生五十一名の総勢六十六名で二台のバスに分乗して、出発いたしました。お菓子と飲み物をいただきながら、移動中も和気藪々とお仲間や恩師の先生方との再会に話が弾みました。

あつという間に、最初の見学地である谷岡学園の神戸芸術工科大学に到着しました。学園の職員の方々のご協力の下、施設見学やご説明に熱心に聞き入り、学生の皆さんが作成された作品を鑑賞させていただきました。その充実した大学生活を思うとなんともうらやましい限りで参加者のため息が聞こえてきそうでした。わが子や孫にもこのような大学生活を送らせてみたいものだと、ふと思つたのは私だけではなかったでしょう。わが谷岡学園の姉妹校の卒業生として、誇りを感じる二時間でした。

参加者全員にて、記念の集合写真を撮り、名残を惜しむ中、神戸中突堤に待つルミナス神戸へと急ぎました。豪華客船に乗船後、総会が執り行われ、無事終了することができました。その後、フランス料理のランチコースをおいしくいただき、爽やかなワインに少し顔を赤らめながら、「今頑張っています」の同窓生の近況報告に聞き入りました。神戸空港を眺め、笑顔いっぱい時間を過ごさせていただきました。

下船後、再度バスにて南京町に移動し、お買い物時間を過ごしました。熱気あふれる商店街をすりぬけ、珍しいお土産を手にし帰路につきました。

今回の総会は少し欲張りすぎ慌しくもありましたが、皆様お元気でご友人また先輩後輩の垣根を超えた繋がりが、新しく生まれたいように思われました。

今回の総会は、今回よりも多くの同窓生にお集まりいただけました。頑張ってください。参加者の皆様にお答えいただいたアンケートをもとに、次回はいつくりと楽しく爽やかなものにできればと思っておりますので奮ってご参加下さい。



みなさまの声

▼すごく楽しい一日だった！
▼いろいろありがとうごさいます。

▼とても楽しかったです。また次回も是非お願いします。

▼今日は凄く楽しかったです。次回も今回みたいな所でしたい。

▼満足！ご苦労様でした！！
▼このままでよろしい。

▼集合場所が大阪の中心地で良かったです。

▼集合場所が良かったと思います。いつもお世話をおかけ致しております。今のままで充分です。これからもよろしくお願ひ致します。

▼いつもご苦労様です、満足しております。

▼もっと沢山の参加を協力してもらおうため、もっと努力して下さい。

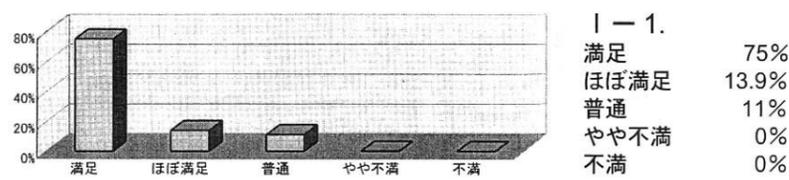
▼先生、役員の皆様方いろいろお世話になりました。

▼久しぶりに、先生方や友人と逢えてとても嬉しかったです。ご苦労様でした！
▼個人の宣伝が多かった。

アンケート結果

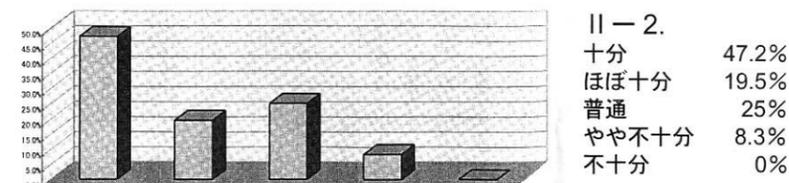
I. 今回のキャンパス訪問&ランチクルーズでの『ふじなみ会総会』全般についてお尋ねします。

1.《総会》に出席してご満足いただけましたか。

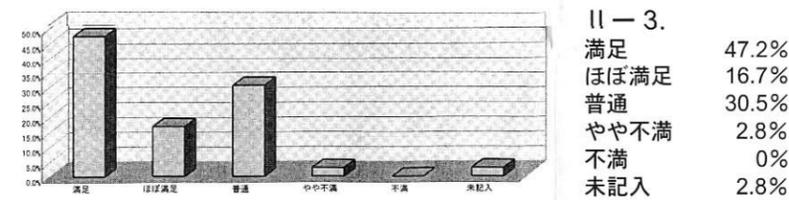


II. 一部【訪問会】(神戸芸術工科大学)についてお尋ねします。

2. 説明・案内は十分でしたか。

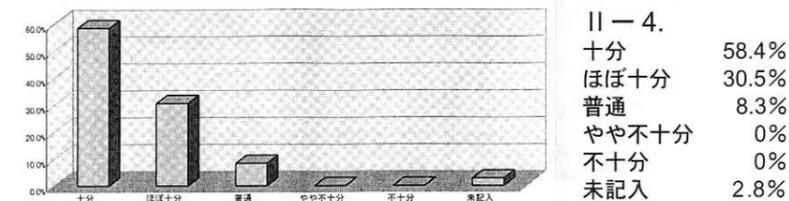


3. 施設の見学についてご満足いただけましたか。



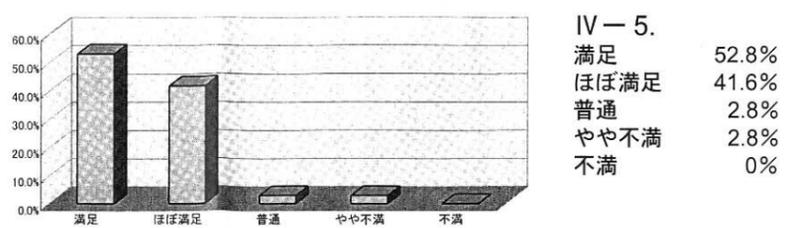
III. 二部【総合】についてお尋ねします。

4. 次第の進行や説明・報告は十分でしたか。



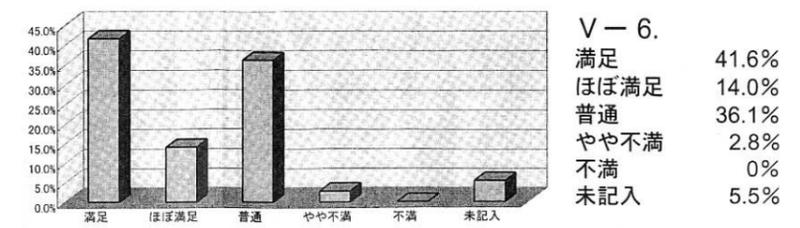
IV. 三部【懇新会】(船上ランチクルーズ) についてお尋ねします。

5. 食事はご満足いただけましたか。



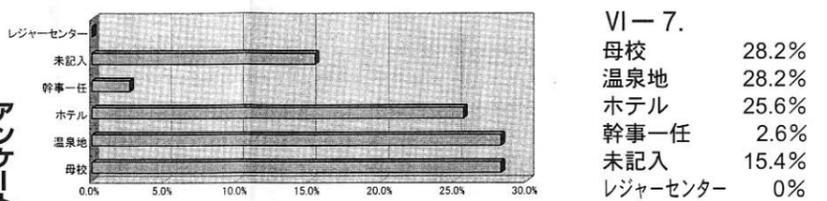
V. 四部【自由行動】(南京町)散策についてお尋ねします。

6. 異国情緒漂う町の散策やお土産の買物はご満足いただけましたか。

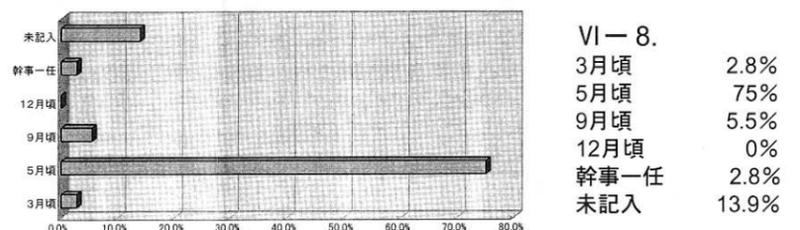


VI. 次回『ふじなみ会総会』についてお尋ねします。

7. 会場はどこが良いですか。



8. 時期はいつ頃がいいですか。



ふじなみ会《総会》

日時 2006年5月21日(日)

アンケート結果より

五月二十一日の総会が、参加者のご協力により、盛況のうちに無事終了しました。ありがとうございました。

当日アンケート実施いたしました。その結果について、ご報告させていただきます。内容・進行とも、満足していただけたようで、役員として安心してしております。また、同窓会会員のそれぞれの活躍もかがうことができて、役員一同元気をいただきました。みなさまから労いのお言葉もたくさんいただきました。ありがとうございます。

次回総会会場につきましては、母校・温泉地が拮抗しております。今後、役員会にて検討させていただきます。次回総会にも、たくさんの方の参加をお願い致します。

今後のふじなみ会の活動について

○ふじなみ会のホームページができました！
本年度、母校のご協力の下、念願であったふじなみ会のホームページを立ち上げることができました。場所は、母校のホームページの中にあり、トップページ

の「ふじなみ会」をクリックすると開けるようになっていきます。このホームページは、総会のご案内など会員のみなさまへの連絡の場として、会則や役員会の報告などふじなみ会の様々な活動をご理解いただける場として利用できれば、と考えています。

また、これまで発行してきた会報のバックナンバーも閲覧できるようにしています。ただし、会報に掲載された会員のみなさまの個人情報を守るために、このコーナーについては、パスワードを入力しないと閲覧できないようになっています。パスワードについては、事務局へメールで連絡いただくと折り返しメールで送付させていただきますことになっていきます。

今後、このホームページを充実させることので、より早く会員のみなさまに情報をお伝えするともにみなさまの意見をいただける場として活用していきたいと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。

○会報の発行について

会員のみなさまとふじなみ会事務局、母校を繋ぐ、最も大きな機会である会報は、現在、年一回発行して、みなさまへお届けしてまいりましたが、しかし卒業生数の減少に伴って会費収入も減少している中で、年一回の発行は経済的な負担が大きすぎるという点、前述のようにホームページで情報をより頻りに提供できる環境を整ったことという理由により、発行の間隔をもう少しとつてもいいのではないかと検討を進めています。その試行として平成十九年四月発行の後は、平成二十一年六月の総会実施時に併せて発行というスケジュールで調整してまいります。みなさまのご意見が聞かせていただきたいと思います。ご意見がございましたら事務局までお願いします。

○会報の発送について

現在、会報はメールにて発送しておりますが、転居等の通知がなく、事務局へ返送されてくるものも少なくありません。転居等の場合は、できるだけ連絡いただきますようお願いいたします。また、前述のようにホームページ上に会報を掲載しますので、発送ではなくホームページ上で確認いただける場合は、お手数ですが同封のはがきにて事務局へ連絡いただきますようお願い申し上げます。

すてきな仲間

その1

★さくらもち同窓会★

第47期 (平成7年卒業)



二〇〇六年春、三十歳と言う年齢を迎えて、ふと、同じ時を共にした高校時代の頃の事を思い出しました。同じように歳を重ねている今、友達はどうしているのだろうか？それぞれに多忙で逢いたいという気持ちはあるが、時間が合わないのが現実なのかも知れない。

「三十歳という節目に同窓会を開いてみては？」という思いつきから、はなはだしい考えで友達に連絡をとってみました。返ってきたのは「何か出来る事があったら言って」の言葉でした。そこから甘えて友を道連れに、まず、何から初めていいのかわからずとありあえず母校へ。当時の学年主任の東先生にお逢いして思いを伝えてみました。先生は快く協力してくれました。それから案内のハガキを学年全員に郵送。返信にはビックリ。皆の反応の薄さに驚きました。思いつきで走り出した自分に反省しました。道連れにした友達と先生にも申し訳ないと思いがながらも後には引けずいました。しか

し、持つべきものは友！いろいろな意見や手立てを考えてくれました。あの頃文化祭や体育祭で協力しあって一つのものを作った頃のように。『何をすればいいのかわからない。』という不安で一杯でした。『ともかくやる事に意義がある！』を信じてとりあえず出来ることから少しずつやってみました。結果、十人が二十人に、更に三十人に、最後には四十人以上の参加の通知を受け取りました。いよいよ同窓会の当日ワクワクとドキドキの中、会場にはぞろぞろと懐かしいメンバーが集結。驚くほど皆が綺麗になっていました。でも時間が経つにつれ、あの頃と変わらぬ雰囲気になっていくのがとても不思議な感覚でした。歳を重ねていろいろな経験をし三十歳を迎えたけれど、やっぱりその人は、その人であって、高校三ヶ年間という短い時間を共に過ごし

すてきな仲間

その2

★同窓会を終えて★

第39期 (昭和62年卒業)



卒業して約二十年前に、初めて同窓会を開催する事が出来ました。そのきっかけとなったのは、浦田先生からの一通の手紙でした。趣味の陶芸による展覧会への招待状でした。先生は、退職して以来和歌山の龍神と堺の自宅を行き来しながら、ご夫婦で趣味を楽しんでおられるそうです。私も和歌山に住んでおられる為お手紙を下さったと思います。同じ和歌山に居ながらも、なかなかお会いする事が出来ず、本当にお会いしたいという気持ちで強くなり、今回、一緒に幹事を引き受けてくれた、谷口さんと花岡さんに相談を持ちかけた所、皆に会いたいね、という事になりました。初めは、仲の良かった人という話から、同窓会したいね、という話になり、初めは、どれだけ人数が集まるのか、誰から声を掛けていけばいいのか、全く分からない状態でした。たまたま花岡さんとは、三年間同じクラスだったので浦田先生と乾先生にお世話になった人に、とりあえず連絡してみようという事になったのですが、結婚して姓が変わっていたら連絡のとおりようがないね、という話になり、なかなか話が進展しませんでした。とりあえず、実家近くの友人に声をかけた所、名簿を探してくれ更に乾先生と連絡を取ることが出来、私達三十九期生のふじなみ会の名簿を届けて下さり、そこからは、連絡が取れる人が増え、当時、仲の良かった人にも連絡をとってくださる人もあり、メールや

昨年の七月二十九日(土)に、高校を卒業して約二十年前に、初めて同窓会を開催する事が出来ました。そのきっかけとなったのは、浦田先生からの一通の手紙でした。趣味の陶芸による展覧会への招待状でした。先生は、退職して以来和歌山の龍神と堺の自宅を行き来しながら、ご夫婦で趣味を楽しんでおられるそうです。私も和歌山に住んでおられる為お手紙を下さったと思います。同じ和歌山に居ながらも、なかなかお会いする事が出来ず、本当にお会いしたいという気持ちで強くなり、今回、一緒に幹事を引き受けてくれた、谷口さんと花岡さんに相談を持ちかけた所、皆に会いたいね、という事になりました。初めは、仲の良かった人という話から、同窓会したいね、という話になり、初めは、どれだけ人数が集まるのか、誰から声を掛けていけばいいのか、全く分からない状態でした。たまたま花岡さんとは、三年間同じクラスだったので浦田先生と乾先生にお世話になった人に、とりあえず連絡してみようという事になったのですが、結婚して姓が変わっていたら連絡のとおりようがないね、という話になり、なかなか話が進展しませんでした。とりあえず、実家近くの友人に声をかけた所、名簿を探してくれ更に乾先生と連絡を取ることが出来、私達三十九期生のふじなみ会の名簿を届けて下さり、そこからは、連絡が取れる人が増え、当時、仲の良かった人にも連絡をとってくださる人もあり、メールや

た事の意味は、それぞれに変わらぬ思い出なんだと感じました。開催して思っていた毎日のちょっとした刺激になるような気がします。日々追われていくだけでなく、ほんの少し立ち止まって自分を見直したいキッカケになると思いました。大袈裟かもしれませんが、これからの日々のパワーにもなるような気がします。『どうしようかな？』の連続で諦めかけた時もあったけれど「ありがとう」「来て良かった」の短い言葉ではあったが、もらった瞬間に全てが吹き飛んだ気がしました。残ったのは、一言、「やって良かった」でした。手伝ってくれた友達、勿論忘れてはいけない先生方に心からの感謝です。

是非、是非次回も！と思いつつ、ぶっちゃけ、結構大変でした。

三十路の幹事より

FAXで返事をくれる人もありました。初めての試みだし、懐かしい母校に行ってみようという事から、事務所の方に相談に行ったり、同級生がいる事に気が付き、ピククリしました。学校見学の話も進めてくれ、スケジュールも調べてくれました。新しくなった建物にも驚きましたが、OKの連絡をもらった時は、感激しました。そして、食事する場所も何軒か当たって見ましたが、バスの送迎をしてくれるので、マンジャバスタに決まりました。当日、集合場所となった母校には三十五人程が集まり、食事場所には三十五人程が集まり、思っていたよりも多くの人数が集まった事に、感激しました。学校見学も新しくなった校舎に目を丸くする人も多く、懐かしい顔ぶれに、更に盛り上がりました。浦田先生や乾先生を交えて、話が絶えませんでした。皆、気分は当時のままでした。食事場所では、顔と名前が一致しないと失礼だという事で、当時のニックネームのシールを貼り付けてもらう事にしました。幹事をしたこともなく、何人かの友人にも手伝ってもらい、進行していくことが出来ました。子どもさんを連れて来た人もいて、とても賑やかで、和やかな雰囲気になり、本当に良かったと思います。二次会にも足を運んでくれた人も多く、私たちは本当に光栄に思いました。当日、遠方から来てくれた人にも、お礼が言いたいです。本当にありがとうございました。

先生が厳しいといううわさで、習い事の続かない私はその体育館の小さな教室で週一・二回のお遊び感覚のバレエを続けていました。しかし、六年生の時、一度母と「法村友井バレエ学校」の支部教室に見学に行く機会がありました。そのとき、私が今までやってきたものとの大きな違いに驚きました。そこで指導している先生は、当時五十歳を越えておられたと記憶していますが、正直に言って「えっ！」という感じでした。私の中では、「バレエの先生は若い人だ」というように思っていたのです。しかし、森川先生は、年齢を感じさせないほどのパワーで、なにより熱心に指導されておられ、すごいと思いました。その姿を見て、私も小さいながら、「この先生に習いたい」と思ったのでしよう。すぐに、「法村友井バレエ学校」の支部教室に移りました。入学して間もない頃、発表会がありました。私は出演する予定は無かったのですが、出演予定の一人の子が、突然出演出来なくなり、森川先生が私に声をかけてくださいました。初めての法村での発表会。何より困ったことが、振付でした。それまでも、以前の教室で何度か、発表会には出ていたのですが、一列に並んで、ずっと踊っているような、単純な振付でした。しかし、森川先生の作品は複雑な隊列移動が何度もあり、初めて経験に困った私は、皆に遅れをとらないよう、何度も何度も家でビデオを見て、必至に覚えたものでした。その後、次の年には、週二回であったレッスンを、もう少し増やしたいと思いつき、毎週土曜日には学校が終わるとすぐに、バレエの用意をして、片道二時間をかけて、森川先生のレッスンに通いました。そして、中学校の二年生の時に、森川先生から、「特別クラスにいかない？」と言われました。法村友井バレエ学校は、関西を中心に、十数か所の支部教室があり、

バレエ

バレエ、頑張っています

中尾早織 第56期 (平成16年卒業)

★がんばってる同窓生★

本部教室の上に「法村友井バレエ団」があります。その特別クラスは、バレエ団の団長が、直々に指導されているクラスで、志美・本部教室から指導者の推薦などで、決まっています。三十名ほどのクラスですが、私は意味もわからないまま、通っていました。周囲の人達の上手さに、圧倒されていました。その後、週五回のレッスンになり、バレエ一色の生活を送っていました。何とか受験も終わり、大阪女子短期大学高等学校に入学し、毎日仲の良い友達と過ごし、バレエもしてはいましたが、高等学校の三年間は、バレエより高校生活を楽しく感じました。そして、進路を決める時にも、その流れで、なんとなく短期大学への進学を選びました。無事短大にも合格し高校を卒業したときに、「私、短大行くんやろう！」と思い、その事を両親と森川先生に相談しました。すると、森川先生は、「じゃあ、うちのバレエ団に入りなさいよ」と、言われました。私は、すごく悩みました。「もう入学金も払ったしな。」でも、両親は、「入学金のことはいいからしたい事をしろ」と、言ってくれました。私は、短大進学をやめて、バレエ団に入団しました。入団したのはいいものの、バレエをさぼっていた私が、バレエ団のレッスンについてゆける筈も無く、毎日必死でした。体はついていかず、一年目につき物の雑用。毎日、辛すぎて、何度も泣きました。そんな中、初めてのバレエ団公演で、大役を頂き、本当に私なんかでイイのかという思いでいっぱいでした。でも、選ばれたからには、頑張ろうと思いつき、毎日必死だった様に思います。その公演からその後も、毎回バレエ団公演に来ていただいている、高三の担任の亀山先生。本当にありがとうございます。あと何年踊るかは、私にもわかりませんが、踊っている間は、お客様やたくさんの人達に喜んでもらえる踊りをしたいと思っています。

先生が厳しいといううわさで、習い事の続かない私はその体育館の小さな教室で週一・二回のお遊び感覚のバレエを続けていました。しかし、六年生の時、一度母と「法村友井バレエ学校」の支部教室に見学に行く機会がありました。そのとき、私が今までやってきたものとの大きな違いに驚きました。そこで指導している先生は、当時五十歳を越えておられたと記憶していますが、正直に言って「えっ！」という感じでした。私の中では、「バレエの先生は若い人だ」というように思っていたのです。しかし、森川先生は、年齢を感じさせないほどのパワーで、なにより熱心に指導されておられ、すごいと思いました。その姿を見て、私も小さいながら、「この先生に習いたい」と思ったのでしよう。すぐに、「法村友井バレエ学校」の支部教室に移りました。入学して間もない頃、発表会がありました。私は出演する予定は無かったのですが、出演予定の一人の子が、突然出演出来なくなり、森川先生が私に声をかけてくださいました。初めての法村での発表会。何より困ったことが、振付でした。それまでも、以前の教室で何度か、発表会には出ていたのですが、一列に並んで、ずっと踊っているような、単純な振付でした。しかし、森川先生の作品は複雑な隊列移動が何度もあり、初めて経験に困った私は、皆に遅れをとらないよう、何度も何度も家でビデオを見て、必至に覚えたものでした。その後、次の年には、週二回であったレッスンを、もう少し増やしたいと思いつき、毎週土曜日には学校が終わるとすぐに、バレエの用意をして、片道二時間をかけて、森川先生のレッスンに通いました。そして、中学校の二年生の時に、森川先生から、「特別クラスにいかない？」と言われました。法村友井バレエ学校は、関西を中心に、十数か所の支部教室があり、

本部教室の上に「法村友井バレエ団」があります。その特別クラスは、バレエ団の団長が、直々に指導されているクラスで、志美・本部教室から指導者の推薦などで、決まっています。三十名ほどのクラスですが、私は意味もわからないまま、通っていました。周囲の人達の上手さに、圧倒されていました。その後、週五回のレッスンになり、バレエ一色の生活を送っていました。何とか受験も終わり、大阪女子短期大学高等学校に入学し、毎日仲の良い友達と過ごし、バレエもしてはいましたが、高等学校の三年間は、バレエより高校生活を楽しく感じました。そして、進路を決める時にも、その流れで、なんとなく短期大学への進学を選びました。無事短大にも合格し高校を卒業したときに、「私、短大行くんやろう！」と思い、その事を両親と森川先生に相談しました。すると、森川先生は、「じゃあ、うちのバレエ団に入りなさいよ」と、言われました。私は、すごく悩みました。「もう入学金も払ったしな。」でも、両親は、「入学金のことはいいからしたい事をしろ」と、言ってくれました。私は、短大進学をやめて、バレエ団に入団しました。入団したのはいいものの、バレエをさぼっていた私が、バレエ団のレッスンをについてゆける筈も無く、毎日必死でした。体はついていかず、一年目につき物の雑用。毎日、辛すぎて、何度も泣きました。そんな中、初めてのバレエ団公演で、大役を頂き、本当に私なんかでイイのかという思いでいっぱいでした。でも、選ばれたからには、頑張ろうと思いつき、毎日必死だった様に思います。その公演からその後も、毎回バレエ団公演に来ていただいている、高三の担任の亀山先生。本当にありがとうございます。あと何年踊るかは、私にもわかりませんが、踊っている間は、お客様やたくさんの人達に喜んでもらえる踊りをしたいと思っています。

本部教室の上に「法村友井バレエ団」があります。その特別クラスは、バレエ団の団長が、直々に指導されているクラスで、志美・本部教室から指導者の推薦などで、決まっています。三十名ほどのクラスですが、私は意味もわからないまま、通っていました。周囲の人達の上手さに、圧倒されていました。その後、週五回のレッスンになり、バレエ一色の生活を送っていました。何とか受験も終わり、大阪女子短期大学高等学校に入学し、毎日仲の良い友達と過ごし、バレエもしてはいましたが、高等学校の三年間は、バレエより高校生活を楽しく感じました。そして、進路を決める時にも、その流れで、なんとなく短期大学への進学を選びました。無事短大にも合格し高校を卒業したときに、「私、短大行くんやろう！」と思い、その事を両親と森川先生に相談しました。すると、森川先生は、「じゃあ、うちのバレエ団に入りなさいよ」と、言われました。私は、すごく悩みました。「もう入学金も払ったしな。」でも、両親は、「入学金のことはいいからしたい事をしろ」と、言ってくれました。私は、短大進学をやめて、バレエ団に入団しました。入団したのはいいものの、バレエをさぼっていた私が、バレエ団のレッスンをについてゆける筈も無く、毎日必死でした。体はついていかず、一年目につき物の雑用。毎日、辛すぎて、何度も泣きました。そんな中、初めてのバレエ団公演で、大役を頂き、本当に私なんかでイイのかという思いでいっぱいでした。でも、選ばれたからには、頑張ろうと思いつき、毎日必死だった様に思います。その公演からその後も、毎回バレエ団公演に来ていただいている、高三の担任の亀山先生。本当にありがとうございます。あと何年踊るかは、私にもわかりませんが、踊っている間は、お客様やたくさんの人達に喜んでもらえる踊りをしたいと思っています。

活動する後輩

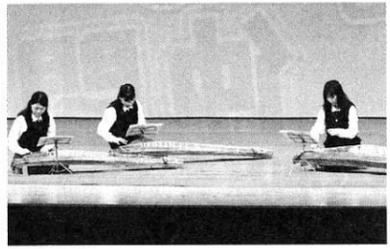
陸上

本校の陸上競技部は、創部四年になり顧問の先生方の御指導の下、日々練習に励んでいます。部員数は、二年生七名、一年生三名の計十名で活動しています。



昨年の冬には、初めての駅伝に挑戦しました。今年の駅伝ではもっと上位を目指していききたいと思います。

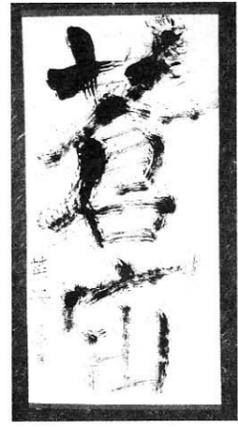
私たちが部活動は、現在少人数ながらもお筆の先生方のご指導の下、日々練習に励んでいます。特に文化祭や発表会等を控えた時期は、毎日遅くまで活動しています。その成果もあり、今年度の芸術文化祭では優秀校に選ばれ、「近畿総合芸術文化祭・大阪大会」という大舞台に出場が決定しました。これから新入生を迎える時期になります。部員一丸となって練習に励み、頑張りたいと思います。



書道部

「第十五回国際高校生選抜書展」において近畿地区団体賞を受賞

「書の甲子園」の愛称を持つ十五回国際高校生選抜書展の審査結果が平成十八年十一月二十一日(火)に発表され、本校書道部が近畿地区団体賞「優秀賞」を受賞しました。



美術部

三年生宮田彩季さん、大阪府高等学校芸術文化祭において最優秀賞を受賞

美術部は、夏の「私学美術・工芸展」冬の「大阪府芸術文化祭典、工芸美術の部」を最大の目標に、日々活動しております。



大学

- 大阪商業大学
大阪大谷大学
大阪樟蔭女子大学
大阪芸術大学
大阪経済法科大学
大阪工業大学
近畿大学
相愛大学
追手門学院大学
四天王寺国際仏教大学
羽衣国際大学
常盤会学園大学
太成学院大学
摂南大学
関西福祉科学大学
関西学院大学
帝塚山学院大学
京都外国語大学
京都大学
京都造形芸術大学
佛光大学
奈良大学
帝塚山大学
宝塚造形芸術大学
園田学園女子大学
中京女子大学
大阪電気通信大学

- 短期大学
大阪女子短期大学
栄養士コース
ライフプロデュース
製菓コース
保健科
幼児教育学科
大阪キリスト教短大
大阪国際大学短大

平成十九年度進路結果

Table showing university and college names and their corresponding student counts for the 19th year graduation results.

平成18年度ふじなみ会収支報告書

Financial report table with columns for income (収入) and expenses (支出), including sub-totals and grand totals.

- 平成19年度「ふじなみ会」会報協力金・寄付金ご芳名
池田喜代子
春田紀美子
藤井寺高等女子学校
長久タミ子
前中 正子
河野千鶴子
松本 久子
杉本 冷子
浅岡 和美
浦浜 清子
小田 寿子
城戸 重子
下道 澄子
高田 艶子
野村恵美子
早川 節子
藤川セツ子
加藤利夫
久保武三
野尻 悦子
伊良輝輝子
江澤 一子
河合須美子
室谷千代子
上田知永子
上田 俊子
武内 智子
吉川 陽子
松本美智代
豊永 昌子
芝田 康子
振角 佳子
高橋 佐幸
坂口記代美
布田 浩子
山口 瑞子

- 平成18年度教員異動
教頭/徳野 博紀先生
大阪商業大学堺高等学校へ
平成12年4月/平成18年3月
英語/陰山(旧姓:的場)愛子先生
(退職)
平成9年4月/平成18年3月
(大阪商業大学堺高等学校へ)
(公立中学校へ)
平成9年4月/平成18年3月
数学/西口 貴晴先生
(公立中学校へ)
平成12年4月/平成18年3月
理科/森岡 英仁先生
(公立高校へ)
平成15年4月/平成18年3月

- 平成19年度教員異動
(退職)
音楽/澤田 哲先生
昭和48年4月/平成19年3月
理科/中谷 泰夫先生
(大阪商業大学堺高等学校へ)
平成13年4月/平成19年3月
英語/小守 良昌先生
(大阪商業大学高等学校へ)
平成12年4月/平成19年3月
英語/上田 妙美先生
(退職)
平成9年4月/平成19年3月
家庭/石川 紀子先生
(公立中学校へ)
平成17年4月/平成19年3月

編集後記

昨年五月の総会から早一年が経とうとしています。最近特に時間があっという間に過ぎていく感じがするのは、私だけでしょうか?もう少しゆっくりに、じっくり歩みたいのかなと思います。先日、我が家のペット「陸亀の「クラー」君がとて早く歩くことを発見しました。それは、偶然タオルが顔の上に落ち目隠し状態になった時、何と見たこともない速さで歩くのです。亀がこんなに早く歩くなんて知らなかった私は、今の世の中に合わせているのだからか?と思いました。せめて、亀だけでも、ゆっくり、ゆっくり歩んでほしいなあ!(U・I)